

訪台・相互交流訪問団・報告書

回憶是一生中最珍貴的寶物

思い出は一生の宝物



高雄市汜顧問に親書をお渡しする

11日 4:00 出発
17日 23:55 帰宅



彰化女子高級中学で

11日 11:20 成田発 JAL805便、台北 14:35 着

17日 13:20 発 JAL804便、成田 18:20 着



2012・3・11～3・17
長野県温情停留協会
信州せいしゅん村

沖縄県・与那国島の位置

コース: 台北から最南端の懇丁までの学校訪問と交流の旅

訪台・相互交流訪問団・行程表

日次	期日	発着地	時間	日 程	食事
1	3/11 (日)	武石 発 成田空港着 桃園空港着 左営 着	04:00 09:30 14:35 18:00	貸切バス 11:20発 JL805 便 16:21 高鉄717号台湾新幹線:高鉄(高速鉄道の略)→高雄市へ 到着後ホテルへ (高雄:国賓大飯店泊)	× 機内 ○
2	3/12 (月)	高雄 発 屏東縣恒春着	09:00 13:00 15:00	午前:高雄市内観光・蓮池潭(龍虎塔) 昼食:市内のレストラン 屏東縣の恒春へ(バスで高雄から2時間) 15:00着、国立恒春高級工商職業学校訪問交流。①李・校長先生 校長先生が招待の晩餐会 (恒春高校経営のホテル泊。屏東:恒春高中泊)	◎ ○ 招待
3	3/13 (火)	屏東縣恒春発 高雄 着	08:00 午後	午前:墾丁観光(台湾最南端のリゾート地:恒春から30分) 高雄市美濃での農村体験～昼食:農家レストラン「合口味餐廳」(汎顧問・游科長が同席) 客家文物館で農村代表者との交流会②汎・高雄市長室顧問 H・Sを受入している家庭訪問交流。 美濃濃肚小学校訪問、農村教育を見学+交流。バナナ農園で作業見学 夕食会:高雄市長室顧問、汎・顧問と③鄭・教育局長、④游・教育科長を招待する。 夕食後、六合夜市散策 (高雄:国賓大飯店泊)	◎ 招待 ○
4	3/14 (水)	左営 発 台中→彰化 彰化女中着	08:00 09:01 10:00 13:00	高鉄616号にて台中市へ 台中到着後、バスで彰化市へ 彰化市農村交流(家長会案内) 寶蔵寺・パイナップル園 12:00 家長会主催の昼食会 彰化女中交流=来日学校の生徒交流 ⑤孔・校長と⑥高・家長会・会長 校長・家長会と夕食 (台中:福華大飯店泊)	◎ 招待 招待
5	3/15 (木)	台中 発 台北 着	09:15 10:06	高鉄118号にて台北へ 11:00私立静心国民中小幼稚園 ⑦簡・校長先生訪問 11:30発 12:10着華僑実験高級中学訪問交流 ⑧朱・校長先生 招待の昼食会 14:30発 午後:台北市内観光=龍山寺、忠烈祠、国立中正記念堂、台北101 ⑨葉・台北市山岳協会・常務理事一行と夕食会 (台北:華泰王子大飯店泊)	◎ 招待 ○
6	3/16 (金)	終日自由行動		国立故宮博物院見学、蒋介石自宅見学 夜:士林夜市 (台北:華泰王子大飯店泊)	◎ ×
7	3/17 (土)	台北 発 桃園空港着 成田空港着	10:00 11:00 17:20	桃園空港へ 13:20発 JL804便 18:20発 貸切バス……………武石 着23:00	◎ 機内 ×

11日 朝3時過ぎに起きて台湾行き余里方面のメンバー、守子さん、熊木さん、晴美さん、竹内さんの4人を迎えに行く。途中立派な角の生えた鹿と衝突しそうになって驚かされる。鹿には何の気遣いもなく、振り返ったと思ったら進みだす恐ろしい獣だ。ヘッドライトをやられる寸前で衝突回避、良かった！武石を4時丁度に貸切バスで出発、途中鈴木さんと竹内さんを乗せて、佐久市に向かう。4時50分、学習協の4人をピックアップし、成田空港へ向かい、8時30分過ぎに無事到着。



功さんの奥さんが『おやき』を差し入れ



10年来日台東大学院生と再会、案内を



台湾新幹線の中。大人の修学旅行だ！

成田空港11:20発のJL805 便で台北空港へ。穏やかな天気の中を桃園空港14:35着 ロビーには金井さんと『玉山』に登る葉さんが待っていてくれて、金井さんと別行動。桃園駅16:21発の高鉄717号の台湾新幹線で高雄市へ向かい、高雄の左営駅18:00到着。台湾料理店『龍興』に直行で夕食。今までこの様な味付けの料理を食べた事は無い美味しさ。皆が喜んでた。泊まりは高雄：国寶大飯店。教育旅行誘致説明会では何回も来たが、宿泊するのは初めて。実は高級ホテルだから泊まった事が無かったのです。



綺麗な車内の高鉄。ゴミ収集人が来る



飯田さんご夫妻は78歳、最高齢参加者



初めて食卓を囲み台湾ビールで乾杯

12日

高雄市の蓮池潭(龍虎塔)を見る。高雄では一番有名な場所との事。なる程ですね、龍の口から入って虎の口から出来ないといけない。理由は……。虎の口から入るのは虎に食べられる事に繋がるのだそうです。横に有る大きなお寺に入る黄金に輝く内部は圧巻、中尊寺の金色堂と同じです。ここも凄いところ。ところが観光客は誰もいない。色々な風習をやらせて貰う。願いを込めて2枚の板きれを投げて、裏と表に別れて出れば願いが叶うとのこと。全員が試してやってみたが叶わない人もいた！



池の中に8層の屋根を持つ建物



竜と虎が牙をむく前で笑顔の秋山姉妹



荘厳なお宮と占いに使うバナナ型の板

昼食は市内レストランにて昼食。場所は『華王大飯店』。今日は点心料理を頂く。これも美味しい！ 食べた事が無い様な加工されたキュウリがバイキングの場所に出されていて、私達からみれば只のキュウリの浅漬け。でもどうも違うみたいだ。無理を言って食させて貰う。納得、面白いやり方だった。食道楽の旅をしているようだ。

13:00屏東縣恒春にバスで向かう。高雄から2時間の場所にある台湾の一番南にある県で、南部の高級リゾート地があるところ。



内部は黄金に光り輝き、目を奪われる



とに角、食べたことがない料理が並ぶ



これはキュウリの漬物？ 醤油がいい！

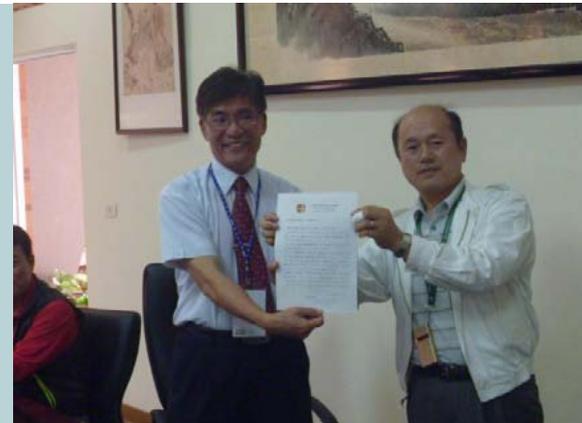
15:00 屏東県の国立恒春高級工商職業学校の到着。ここが台湾の学校訪問交流の一番目。長野にも昨秋に来て頂いていて、今年もお出で頂く予定です。本当に大歓迎される。最初に通された会見の部屋もそうだが、案内してもらった校舎も全員が驚きだった様子。全員が『凄いね』の連発で、今回の台湾行きを計画した一番の目的は台湾の学校を見て貰って、長野県・日本の教育環境をどう考えるのかを、考えて欲しいと思ったからだったので、受入家庭の言葉を聞いて、来て貰って良かった。



電光板に歓迎・長野県温情停留協会



校庭は芝生にアンツーカーの走路



阿部知事の親書をお渡し、記念撮影

学生さんのデモンストレーションを見せて貰う。この学校はホテル経営をしていて、今日はこの学校で宿泊。ホテルに入って着替え。校長先生が招待の交流会場のレストランへ。着物に着替えた人が両竹内さんのお二人、花を添えて頂く。海鮮料理が専門のレストランは広くて綺麗で400人ぐらいは軽くは入れる規模で驚く。ここに家长会(PTA)会長や元会長が参加して、歓迎会が行われる。食事は美味しいし、先生方も10人ぐらいは参加。盛り上がりすぎた感が有ります。家长会会長が日本に来ると約束してくれた。



卒業すればすぐ第一線に立てれるぞ



こんなに賑やかに飲んで良かったの？



堅い約束: 親指の腹を合わせて握り合う

13日 屏東縣恒春の学校ホテルを8時に出発し、台湾最南端の『墾丁(カンティーン)』の観光に出かける。30分ほどで到着。ヤシの木と芝生が印象的な海岸ですが、日本人はここまではあまり来ない場所だと云っていた。遊歩道には毒蛇注意の看板があったが、その絵にはコブラ？が描かれていてギョッとさせられるが、この場所で記念撮影。見終わって高雄市に向けてバスで2時間、丁度12時に日本と同じ地名の『美濃』に到着、この地区での農村体験を行う。



ヤシの木には憧れが有る信州人がいた



自然には当たり前前に危険が潜んでいる



大根料理: 地元で収穫され野菜たちが

着いたら汎高雄市政府顧問一向が出迎えてくれていた。ここまで出迎えに来て呉れたのに驚かされる。ありがとうございます。教育局の科長さんも同席した昼食会は「合口味餐廳」と云う郷土食レストランで行われ、仕掛け人の方と一緒に席で説明をお聞きしながら農村の田舎料理を頂く。矢張り昔のままの懐かしい料理が人気の様です。昼食後、『客家文物館』で農村の代表者の一行と交流会。高雄市政府の張社会局長も見え、名刺交換。来日したいらしい？です。



昔食べていたと、ガガブタを見せる代表



農村活動組織の人達と交流発表会



親書や交流農村宣言を手に記念撮影

学校近くでホームステイを受け入れている家庭を訪問予定だったがその通り家庭訪問。洋式ですね。全く着飾らずに家の中のバスルームや寝室までも見せて貰う。台湾の家は冬の備えを行わなくてよいので良いなあですね。美濃濃肚小学校の農村教育を見学訪。黄校長は美人校長で40歳ぐらい。それにしても台湾では女性や若者の登用が進んでいる事の多さに驚かされる。最初は3年生ぐらいの女の子のパフォーマンス。上手で洗練されている。中国の時代絵巻の舞踊を彷彿させる



農家を訪ねる。自慢のパンを頂いた



練習に明け暮れないとこれは出来ない



子供と肥料蒔き。校長と小林功・一郎

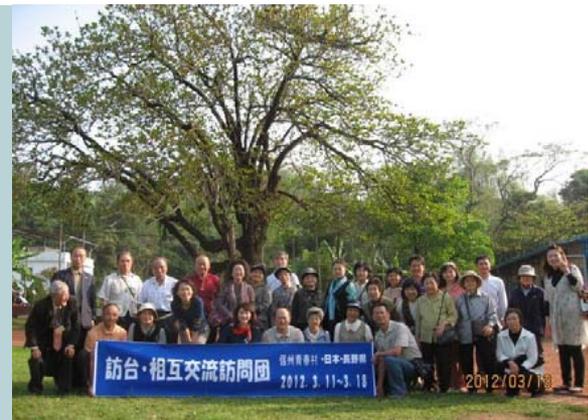
次に生徒達と一緒に学校水田で行っている有機農業米作の肥料撒き作業。私に指名が来たのでズボンの裾を織り上げて革靴で、校長先生と肥料撒きをやらして貰う。見終わって御茶のおもてなしを受ける。お餅を搗いてくれて、バナナも食べきれないほど。お餅の種類がたくさんあってすべて食べてみたい衝動に駆られ、手を出してしまう。ここでも家長会が全面協力をしてくれているようだ。素晴らしい組織です。あの山まで学校の敷地ですと指差す方向がとんでもない先を示すので驚き。羨ましい限りですね。



若い女性が当たり前の様に仕事に就く



食べきれなくて腹が破裂しそうになる



綺麗な校庭で気持ち良く記念撮影だ

次に向かうバスの中で『長野県と相互交流の調印をしませんか』、とか、『教員の相互交流をしませんか』、と云った事を相談してみたら、汎顧問からはOKと前向きな返事を頂く。大役を果たすことが・・・次にバナナ農園でバナナの出荷準備作業を見せて貰う。台湾バナナの一番美味しいものを食べさせて貰う。納得！本当に美味しい。夕食会を宿泊している国賓大飯店の2階で広東料理を食べるこの席は高雄市長室顧問の汎さん、鄭教育局長、游教科長を招待して、海鮮料理で。話が弾み10時を大幅に過ぎて終わる。



畑に日本語の達人の老人がいた！



台湾バナナは美味いが市場では負け



汎顧問、鄭教育局長、游教科長



平林さんの『木目込み人形』は大好評



高雄市要人を招いて夕食会を催す



気さくな汎顧問が各テーブルを回る

14日

高速鉄道高雄の左営駅8時発、高鉄616号にて台中市へ。台中9時01分到着。バスで彰化へ向かう。今日のコース予定は彰化女中(彰化女子高級中学=日本の高校の呼称)さんとの交流ですが、内容は全て『廖敏樂・先生』にお任せで頼んであって、どこでどの様におこなうのか判らない状態。『私に任せて下さい』と先生から云われ、お願いしていたのです。午前中と夕食会は家長会がやってくれるとも伝えられてはいたのですが、人任せですみません、アリガトウゴザイマス。

10時。この地の有名な『宝蔵寺』を学校側の案内で見せて貰う。流れる電光掲示板に【歓迎光臨・長野県温情停留協会】と書かれ、派手に爆竹を鳴らして歓迎してくれた。特別対応をして頂き一同驚き。中国系のお寺さんの説明を懇切丁寧に、理解は前進。次に台湾一の『パイナップルケーキ』製造所を見せて貰う。産業観光ですね。どの様にしてここまで来たのか。苦労の一端を紹介して貰い、『えっ、そこまでやったのか』ですね。



特別な計らいの説明に聞き入る参加者



国宝と云われて納得できる建物だった



国を代表するお土産、パイナップルケーキ

お昼は鶏肉料理の有名店で頂く。この場から同席してくれたのは2か月ぶりに再会した孔校長先生と、高家長会会長と実業家の女性副会長。県知事を歴任し、国会議員の方も名刺交換。ここに歴代の同窓会長が同席、最高齢者は86歳。凄い組織ですね。食事の時に隣に座った孔校長先生から、これ以上食べきれませんと云うほど料理を皿に取り分けて貰う。これもこちらのおもてなしマナーなのかな・・・こちらは折角だから残すと勿体ないと食べていたのですが。(食べると分けて呉れるのがマナーだった)



2年続けて我が家に来て頂いた孔校長



台湾は家長会がしっかりしている



左:家長会副会長、中:国会議員、右:通訳

食後、彰化女子高級中学さんへ。校長先生に出迎えて頂いたが、これが本当に凄い！ 目を見張るぐらいに本当に凄い！ を連発する。入口から100メートルを超える両側に生徒さんが『こんにちは。ようこそいらしゃいませ』を拍手しながら連呼して呉れ、通路を曲がったらまだ30mは続いているではないか。恐れ入ります。
 接待室で交流開始。親書をお渡しし、お土産をお渡しする。新聞社が取材に来ていたり、ビデオが回っていたりでした。



玄関には垂れ幕で歓迎。通路は子供が



知事親書を校長と家長会会長にお渡し



日本と同じような所作が続く。うーん！

ウーロン茶の作法に従った飲み方を教えて貰う。日本独特の茶道だけではない事を教えられた。この場で受け入れ家庭と来日した学生さんの出会いが開始され、行き会う事が叶った人からは嬌声が響き渡り、抱き合っていた。私達は校長室に通される。校長室の第一印象はこれは凄い部屋。こんな校長室は日本には無いでしょう。一番記憶に残るのは【国力在教育不忘】です。これが台湾の教育の原点だと思い知らされる。学生は校長室には初めて入った、と云っていたのが印象的だった。



訪問者全員に交流席が有り、驚く



立派な校長室【国力在教育不忘】の額



いつも別れは辛いもの。泣いていた！

3時を過ぎて今度は古い港町だと云う『鹿港』に行く。古い建築物が林立していて、彰化女子の歴史の先生が案内してくれた。最初に行ったのは有名なお寺さんで、先日までお祭りが有り、1000万人が参拝に訪れたと云うお寺さんだったが、ここで腰を抜かすほど驚かされる。大門の下に電光掲示板があり【歓迎光臨・長野県温情停留協会】と書かれていて、鐘を鳴らしての歓迎。こんな大歓迎は後にも先にも絶対に無い。恐れ入ります。特別室でお茶まで頂く。普通だったら『ありえない』と口々に声を上げる筈だ。



こんなに歓迎されて『いいの』だろうか？



賑やかさが判る。人混みが次から次と



廖敏樂先生に商店内部を案内して貰う

『鹿港』の本当の町歩きをさせて貰う。路地裏歩きで懐かしい光景が一杯。ここに設問があればまさしく観郷ウォークだ。夕食会は家長会が手配してくれたキノコ料理専門店。今回の台湾行で食べて来た料理に重複が無い。途中から台湾最高峰3952mの『玉山』の登頂に成功した金井さんが合流。 家長会や同窓会も同席して呉れた。話している中で長野に遊びに来て呉れることになり、台湾式の堅い指切りをした。10時過ぎに私の音頭取りで、日本式3本締めを行って解散。宿舎は台中の『福華大飯店』



街の当たり前に有る風景に癒されます



『玉山』に登った証明書を誇らしく持参



同窓会OB家長会OBが沢山集まるんだ

15日

台中発9時15分発に乗り11時、台北一の名門私立の静心国民小中学に到着。応接に通されてすぐにビデオを見せてくれ、冒頭には『小林先生・・・』とあり、学校の代理で気仙沼に届けた義援金の贈呈風景を送った写真を上手にまとめてあり、思い出させられて思わず涙。校長先生も目頭を押さえていた。最初に3・11の震災支援に対して観光庁のサンキュージャパンのポスターと粗品を渡す。知事からの親書をお渡し。秘書長が8月には行きたいと云ったのでコース提案をしますからと返事する



大変だ。頂き物で荷物が多くなっていく



東日本大震災に巨額の支援金の御礼



さすが台北一。設備が整っている

12時20分に華僑実験高級中学に到着。校長先生が昼食を招待してくれた席に、来日した学生たちが陣取っていて、ここに受け入れ家庭が合流。賑やかな食事が始まる。私も顔見知りの先生方が一杯で、固い握手の連続。授業が始まるので教室に戻る際には抱き合うシーンだらけ。日本語が上手な学生さんは残って通訳してくれたが、上手い訳だ。日本人留学生だった。全学生で20人ぐらいはいると云う。ここは帰国子女が4分の1もいるそうです。



屋外巨大電光掲示板に『歓迎・・・』と



台湾で再会を果たし、感無量・・・



皆いいお子さんだ。立派になるだろう

台湾の高校バレーボール界で一番強い学校の『華僑実験高中』 体育館や敷地を案内して貰い、校舎に入って贈呈式。知事親書をお渡しし、観光庁のポスターを進呈。持参したお土産類をお渡しする。大幅に遅れて2時20分を回って学校を出る。台北市内観光。龍山寺を見てから忠烈祠に向かう。ここは直立不動で1時間立ち尽くして守る衛兵の交代式が丁度4時になる様に行ったので見る事が出来た。歩いた足跡が本殿まで続くのには驚かされた。



食事は食べきれないほど出された



お土産は沢山持っていかないと困るぞ



『忠烈祠』の衛兵の交代式は必見だ

中山記念堂、台北101を見て、夕食会場の北京料理聚馥園に8時に到着。先日玉山に登った金井さんと同行してくれた3人も含め、台北市山岳協会の一行8人と夕食会。5年前に我が家にHSLした葉士平君もやってきた。長野県山岳協会が1991年にヒマラヤ遠征して雪崩に巻き込まれ遭難した際に救助してくれたそうで、その時の信濃毎日新聞が掲載されている冊子を持参して見せて呉れた。知事親書をお渡しし10時に解散。



中山記念堂と台北101。金井さん買ったかな



北京ダック料理が有名なお店だった



『玉山』登山隊の一行。皆、若さがある

16日

9時にホテルを出発し、故宮博物院へ。故宮博物院は世界3大美術館の一つだと云うので一度は訪ねて見たいところだった。昔ルーブル美術館に行った事が有るが、ここも人出の多さに驚く。顔つきが同じ中国人らしき人でごった返していた。感想はと問われれば、満足。でも、陳列品は指折りの世界最高峰だろうが、その時代が濃くないと云うか、展示品の時代背景がバラツキ過ぎと云うか、ちょっと物足りなさが残った。又来よう。



故宮の横の地下食堂。穴場で貸切状態



故宮博物院の正面から



故宮博物院の正門。目の前は億ション

蒋介石総統の自宅が昨年から開放されたので見に、路線バスに乗って行く。総統の自宅はのんびりゆったりの家。これが良いね。5時30分に小籠包(ショウロンポウ)有名店ディンタイホウに行く。空席待ち客が路上まで溢れて、賑わっているお店で、予約が取れていたのを入れた感じだ。食べ終わってタクシーで『士林夜市』に行く。士林で疲れて椅子に座っていると、おじさんが日本語で話しかけて来て色々と言話の話をする。これは予期せぬ交流。



蒋介石総統の自宅は昨年から見学解放



有名な小籠包の店。時間待ちがすごい



士林夜市。おじさんが『日本、有難う』と

17日

帰国日。楽しい知らせが届く。日本政府観光局台湾事務所が私達の「相互交流訪問団」の事を広報したいので詳しい資料を欲しいから『小林さん資料を送って』と学習協の恵崎常務が告げてくれた。本当になれば嬉しいですね。



曾さん有難うございました。又出かけて



スーツケースを透視するシステム



機内は満ち足りた笑顔の渦だった

謝謝你的一切:お世話になりました。長野縣温情停留協會 信州青春村 mail@murada.com





不要忘記恩情
 親切忘れません
 信州青春村
 0268-85-3939
 mail@murada.com

